

## 【地方創生関連交付金等を活用した事業】

交付金名称	地方創生推進交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
地域に根付いた「盛岡ヘルステック・クラスター」形成促進事業 （ものづくり推進課）	<p>・地域経済牽引事業者が海外での提携企業・顧客開発を効果的に進めるための費用の一部を助成した。</p> <p>・業務委託により、構成企業の先進的な取り組みの紹介、更なる連携を促すためのセミナー開催、クラスター構成企業がきめ細かい支援を受けながら事業を進めるための専門家派遣体制の構築、専属コーディネーターによる産学官連携支援を実施し、構成企業の連携を強め、共同開発を促した。さらに、就職関連イベントにクラスターとして出展するとともに、クラスター構成企業と学生との交流会を開催することで、多くの学生に対し、クラスター構成企業の存在をアピールした。</p> <p>・TOLICの活動を全国に発信するために、首都圏で行われたイベントに参加をしてPR活動を行うとともに、ホームページの更新を行った。</p> <p>① 盛岡市クラスター活動支援業務委託 10,010 千円  ② 盛岡ヘルスケア産業協議会負担金 1,333 千円  ② 盛岡市医療福祉機器等販路開拓支援事業補助金 17,662 千円</p>	<p>TOLIC 会員ものづくり企業への地元高等教育機関卒業生就職者数 18 人</p> <p>TOLIC 会員ものづくり企業数 33 社</p> <p>クラスター構成企業による海外取引にかかる売上高 259,057 千円</p>	実施期間 R1～R3 年度

交付金名称	地方創生推進交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
盛岡AI・IoTプラットフォーム事業（ものづくり推進課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域に集積するIT関連企業が持つAI・IoT等の先端技術と、製造業等のAI・IoT活用のニーズや課題のマッチングを図ることを狙いとし、皆が集まり新しい価値や技術にチャレンジする実証実験を行う場「MULTI MONO MORIOKA（マルチモノ盛岡）」を設置した。</li> <li>モデルとなる企業の未来技術に関する実証実験への補助を実施するとともに、セミナーや学習会等によりIT企業及び製造業等の異業種企業のネットワーク化を推進し、産業の高度化・高付加価値化、高度IT人材の地元定着等を推進した。</li> </ul>	高度IT人材の県内就職者数 161人  プラットフォーム参加企業数 53社  実証実験補助件数 2件	実施期間 R3～7年度

交付金名称	地方創生推進交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
関係人口の増加を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業 （都市戦略室・経済企画課）	<p>雇用、観光、地域経済、農業などの各分野での現状や課題などの把握や既存事業との関係性を考慮した上で、イベント開催などのほか、マーケティング手法を構築しながらホームページやSNS、マスメディアによる双方向を意識した情報発信を行い、東京圏の潜在的な移住・交流ニーズに的確に対応することで、特産品購入やふるさと納税など東京圏にしながら盛岡との関係性を築くことができる環境を整備するものである。</p> <p>また、高校生などの若者に盛岡で働くイメージを持つ機会を提供することで、長期的な視点から若者の盛岡への還流を促進するほか、東京圏からの交流や移住の希望者が、「仕事」や「暮らし」を一体的に体験できる環境や、地域と交流できる拠点を整備し、移住や交流につながる新たな仕組みを構築することで、移住・定住の促進を図ろうとするものである。</p>	<p>①事業を通して、盛岡を訪問した人数            目標 150人            実績 集計中</p> <p>②事業を通して、ふるさと納税を行った人数            目標 500人            実績 集計中</p> <p>③事業を通して、移住した移住者数            目標 30人            実績 集計中</p> <p>④事業を通して、データベースに登録した人数            目標 1,000人            実績 集計中</p>	実施期間 H30～R4

交付金名称	地方創生拠点整備交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
スポーツ・ツーリズムの推進（施設整備）  （スポーツ推進課）	「いわてグルージャ盛岡」のホームスタジアムである「いわぎんスタジアム（盛岡南公園球技場）」にJリーグのスタジアム基準を満たす照明整備により、施設の充実による大会・合宿受入れやプロスポーツチームの観戦を核としたスポーツ・ツーリズムによる交流人口の増加を図る。	グラウンド利用者数 14,988人  Jリーグ観客数 1,420人/試合	実施期間 R2年度

(参考) 令和 4 年度活用事業

交付金名称	地方創生推進交付金		
事業の名称	実施内容	計画 (K P I 等)	備考
東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト (観光課)	<p>東北の伝統ある夏祭り (青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり) を一体化し実施した東北六魂祭 (2011~2016 年)、東北絆まつり (2017 年~) の実施により、東北絆まつりは新たな伝統文化として認知されつつあり、東北の県庁所在地六市等の連携体制も強固なものとなっている。</p> <p>本事業では、その連携体制と新たな伝統文化「東北絆まつり」を活用し、東北六市が連携した観光物産プロモーションを実施することで、東北の風土や自然、食などに広がりを持たせた文化・観光の魅力を発信するとともに、スタンプラリーなどにより東北域内在住者を含めた、域内周遊を促進することで交流人口の拡大を図る。</p>	<p>①東北の県庁所在地六市 (青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市) 延べ宿泊者数 4,200,000 人泊</p> <p>②夏祭り (青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり) 入込数 8,790,000 人</p> <p>③観光物産プロモーション実施回数 2 回</p> <p>④スタンプラリー参加者数 1,000 人</p> <p>※いずれも令和 4 年度計画値</p>	実施期間 R4~R6